

東日本大震災5周年 (ファクトシート)

東北の復興

- 避難者は47万人から18万人に減少。避難者の心と体の健康が課題。
- インフラ復旧（道路、鉄道、水道、電気、通信、学校、病院）は概ね終了。住宅再建が最盛期。
- 鉱工業生産は概ね震災前の水準に回復。農地は74%、水産加工は85%で業務再開。

福島第一原子力発電所

- 原子炉の状況は安定しており、周辺環境は着実に改善。
- 福島県内の放射線は除染作業と時間の経過により大幅に減少。ごく限られた地域を除いて福島県内の放射線は海外主要都市とほぼ同水準。

福島県内	空間線量率	世界の都市	空間線量率
西部（会津若松）	0.06 μ Sv/時	パリ	0.10 μ Sv/時
北部（福島）	0.20 μ Sv/時	ミュンヘン	0.12 μ Sv/時
南部（白河）	0.09 μ Sv/時	上海	0.59 μ Sv/時
北部沿岸（南相馬）	0.09 μ Sv/時	シンガポール	0.17 μ Sv/時
南部沿岸（いわき）	0.07 μ Sv/時	ニューヨーク	0.06 μ Sv/時
20km 圏内（楢葉）	0.11 μ Sv/時		

- 放射能汚染の除去は発電所周辺11市町村中4つで全面終了、3つで宅地のみ終了。福島県内の避難区域面積は7%。

食品安全

- 日本は世界で最も厳しいレベルの基準値を採用している。

日本		EU		米国	
飲料水	10	飲料水	1000	食品	1200
牛乳	50	乳製品	1000		
乳児用食品	50	乳児用食品	400		
一般食品	100	一般食品	1250		

(単位 ベクレル/kg)

- 震災以後120万件以上検査してきた結果、日本で基準値を超過する割合は最近では全体の0.2%。これらは直ちに出荷を禁止され、市場に出回らない。
- IAEAの評価「セシウムの法定基準値を超えた食品が供給されることを防ぐ仕組みが導入され、実施されている」(2015年9月)
- 多くの国が輸入規制の撤廃や緩和を実施している中、ロシアは依然として輸入停止を含む規制を実施する9ヶ国のうちのひとつ。
(水産物の輸入停止(7県)、全食品への放射線検査証明書添付義務(6都県)等)

海外からの観光客

- 東北への外国人宿泊客数は震災前の水準に回復していない。

日本全国	161.7
岩手県	87.8
宮城県	64.3
福島県	42.6

(2010年を100とした場合)

(以上)